

医理工学院 医理工学専攻（修士課程） アセスメント・チェックリスト

医理工学院医理工学専攻（修士課程）の学位授与水準(DP)

DP1	異分野・異業種間の諸課題を調整し、共同できるコミュニケーション能力
DP2	(量子医理工学コース) 量子力学から発展した放射線物理学を基礎とし、これを医学に応用するための学問体系である量子医理工学に精通し、放射線治療・粒子線治療とこれに関連する新たな医療機器に関する専門的知識と技能
DP3	(分子医理工学コース) 生体の分子挙動に関する理工学を医学に生かすために必要な学問体系である分子医理工学に精通し、分子画像診断・分子生物学・放射線生物学等に関する専門的知識と技能

番号	名称	実施時期	周期	対象	内容, 質問項目等	手法	評価者	結果の活用方法	実施者
1	授業アンケート	7月, 1月	毎年	全学生	・授業の満足度 ・授業の理解度 ・学習状況	質問紙	学生	結果を学内に公表し, 教員に教育方法改善の指針を与える。	医理工学院
2	成績評価	4月, 9月	毎年	全学生	・成績の点検	履修指導時の点検 成績評価時の点検	医理工学院学生指導関係教員及び授業科目担当教員	・成績をもとに履修指導を行う。 ・授業科目改善の参考とする。	医理工学院
3	大学院生調査	随時	毎年	全学生	・学習状況 ・コンピテンシーの習熟度	質問紙	学生	教職員に開示して今後の教育制度改革の参考とする。	総合IR室
4	修了時調査	3月(9月)	毎年	2年生	・カリキュラム, 卒業研究の満足度等	メール及び質問紙	学生	専門科目のカリキュラム改善の参考とする。	医理工学院
5	修了生調査 (OB/OG調査)	随時	毎年	修了後2年目の修了生	・大学教育の有用性と現在の状況	メール	修了生	教職員に開示してカリキュラム改革の参考とする。	医理工学院
6	企業調査 (就職先調査)	随時	3年に1回	卒業生の就職先	・企業等からのアドバイス	質問紙	企業等の職員	評価に基づき, カリキュラム改革を検討する。	総合IR室
7	DPによるカリキュラム点検	随時	3年に1回	カリキュラム	・DPを実現できるカリキュラムになっているかの点検	ナンバリング, カリキュラムマップなどによるDPとカリキュラムの相互参照	医理工学院学生指導関係教員	DPとカリキュラムのバランスが悪い場合はいずれかを調節する。	医理工学院

医理工学院 医理工学専攻（博士後期課程） アセスメント・チェックリスト

医理工学院医理工学専攻（博士後期課程）の学位授与水準（DP）

DP1	異分野・異業種間の諸課題を調整し、共同できるコミュニケーション能力
DP2	（量子医理工学コース） 量子医理工学の分野で、放射線治療・粒子線治療に関連する新たな医療機器や技術の開発を主導できる豊富な知識と優れた技能を有し、国際社会でリーダーとして活躍できる能力
DP3	（分子医理工学コース） 分子医理工学の分野で、新たな医療用分子画像装置・分子診断薬・腫瘍溶解ウイルス・放射線増感技術等の開発研究において、豊富な知識と優れた技能を有し、国際社会でリーダーとして活躍できる能力

番号	名称	実施時期	周期	対象	内容、質問項目等	手法	評価者	結果の活用方法	実施者
1	成績評価	4月、9月	毎年	全学生	・成績の点検	履修指導時の点検 成績評価時の点検	医理工学院学生指導関係教員及び授業科目担当教員	・成績をもとに履修指導を行う。 ・授業科目改善の参考とする。	医理工学院
2	大学院生調査	随時	毎年	全学生	・学習状況 ・コンピテンシーの習熟度	質問紙	学生	教職員に開示して今後の教育制度改革の参考とする。	総合IR室
3	修了時調査	3月（9月）	毎年	3年生	・カリキュラム、卒業研究の満足度等	メール及び質問紙	学生	専門科目のカリキュラム改善の参考とする。	医理工学院
4	修了生調査（OB/OG調査）	随時	毎年	修了後2年目の修了生	・大学教育の有用性と現在の状況	メール	修了生	教職員に開示してカリキュラム改革の参考とする。	医理工学院
5	企業調査（就職先調査）	随時	3年に1回	卒業生の就職先	・企業等からのアドバイス	質問紙	企業等の職員	評価に基づき、カリキュラム改革を検討する。	総合IR室
6	DPによるカリキュラム点検	随時	3年に1回	カリキュラム	・DPを実現できるカリキュラムになっているかの点検	ナンバリング、カリキュラムマップなどによるDPとカリキュラムの相互参照	医理工学院学生指導関係教員	DPとカリキュラムのバランスが悪い場合はいずれかを調節する。	医理工学院